

収支のバランスがとれた財政マネジメント

SDGsの ゴール・ 目標	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 
---------------------	--

実施項目名	ふるさと納税制度等を利用したクラウドファンディングの推進	所管課	行政管理課
主な課題	少子高齢化の進展に伴い社会保障関係費の増加が見込まれる中、多様化する県民ニーズに柔軟に対応し、自主性・主体性の下で政策決定するためには、自主財源の確保について検討する必要があります。		
取組内容	本県が抱える問題解決等を図るため、ふるさと納税・寄附金の「使い道」を県で実施している事業(プロジェクト)とし、事業内容に共感した方から寄付を募る方法によるクラウドファンディング制度を創設します。		
取組による効果	クラウドファンディングの活用を通じて、本県が取り組む事業(プロジェクト)を県内外の多くの方に知ってもらい、応援してもらうことで、本県の魅力を発信することができます。		
県民から見た行政運営の変化(実施項目の目標)	自主財源を確保するとともに、事業成果についての関心が高まり、県政の信頼性が向上します。		

■具体的な取組

取組項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	達成目標
1 実施項目内容 検討、実施指針 等作成	内容検討				検証	各部等における円滑なクラウドファンディング実施
	実施指針作成					
活動指標		実施指針完成			制度の検証	
2 寄附金(ふるさと納税制度)を活用した事業の実施			応募・活用事業の実施			策定した実施指針に基づく事業の実施、活用事業の財源確保及び事業成果への関心の向上
	活動指標		2事業	5事業	5事業	

■成果指標

成果指標名	基準値 (R3又はR4)	年度ごとの目標値			
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1 実施指針作成	—	指針作成	—	—	—
2 活用事業数	—	—	2	5	5

【参考】これまでの主な取組

これまで、沖縄県では、具体的な実施事業ではなく、①首里城火災復旧支援寄附金(令和元年11月～)及び②新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金(令和2年6月～)に対しての寄附金を募集する方法で実施してきた。(R3実績 ①首里城火災復旧支援寄附金(177件、4,494,718円) ②新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金(121件、7,377,000円))